

7月10日(水) フィールドワーク振り返り、ポスターセッション

企画部

グループで活動する最後の時間です。今回の取組みについて「どのように探究したか」、「探究で何がわかったか」を振り返る活動をお願いします。

| | |
|--|---|
| 7/10(水) 8限 | <p>風開例</p> <ul style="list-style-type: none"> 7月3日使用の「①評価シート」を各班に返却し、班で発表についての振り返りを行う。 上記とフィールドワークメモ用紙を使用して②振り返りシート(個人用)を完成させる。 「③振り返りシート(グループ用)」にまとめる。 ②③は終了後回収して④は企画部へ提出、⑤は後日返却してください。 クラス代表発表 ゲストスピーカーからの評価シートを参考に担任、副担任で決めて下さい。 ※10日8限までに決めておいてください。 ※11日学年発表会、12日ポスターセッション当日の動きについて説明して下さい。 <p>※3日に既にやり始めているクラスもあります。上記作業終了後はクラス対応をお願いします。2、3年はプレ発表をしています。【教室内で対応してください】</p> |
| 振り返り 代表班決定 | <p>各クラス代表班のポスターを企画部に提出して下さい。</p> <p>【スキヤナで取り込みますので8限後すぐに提出をお願いします。】</p> |
| 8限終了後 | |
| 7/11(木) 8限 15:00~15:40 学年報告会 (音楽ホール) | <p>発表</p> <p>1組→2組→3組→4組→5組→6組→7組(5、6分)</p> <p>発表はPCを使用します。</p> <p>※発表順を事前に知らせておいてください。</p> |
| 放課後 代表班 パネル作成 | <p>発表ポスターを板ダンボールに貼り付けし、教室にて保管。</p> <p>12日(金)SHR後に図書館に持っていく。</p> |
| 7/12(金) ポスターセッション | <p>8:20 SHR 終了後、クラス代表は発表ポスターを図書館へ</p> <p>8:40 資料配布 発表概要の資料を読んで待機</p> <p>9:10 移動開始 リハーサル</p> <p>9:20 A班ポスターセッション開始(20分) 【1年教室施設：木下先生】</p> <p>1組 2組 3組 4組発表</p> <p>9:45 B班</p> <p>5組 6組 7組</p> <p>11:55 ポスターセッション終了 片付け</p> <p>5限 SGHに関するアンケート</p> |

- ・後日、代表班以外のポスターを回収します。(来年度資料として使用のため)
- ・12日配布資料は学年ホワイトボードに準備しておきます。

【R1】第1学年 思索と表現(後期)実施要項

今後の日程と内容について(生徒配布物と同じもの)

| 日程 | 内容 |
|-----------|---|
| 10月2日(水) | <p>(1)スキルトレーニング</p> <ul style="list-style-type: none"> 探究学習マニュアル(鳥取西高版)の特参確認。 P62,63 ステップ4-4「要約の方法を知らう」 P64,65 ステップ4-5「要約をやってみよう」 <p>※ページ番号は今年度配布のもの、昨年度までに配布されたものとは違っています。昨年度までのものをお持ちの先生は注意してください。</p> <p>(2)ブックレポートの作成について</p> <ul style="list-style-type: none"> 日程裏面参照 |
| 11月6日(水) | <p>(1)ブックレポートの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> 新書を1冊持参する。 <p>当日までに大テーマに即した自分の興味関心の高い新書を探し持参する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ※自分の将来の方向に近い分野が好ましい。 <p>(2)新書を読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> 当日までに新書を読んだ人は、ブックレポートを書き始めてもよい。 |
| 後期中間考査 | 11月25~28日 |
| 12月2日(月) | <p>ブックレポート提出</p> <ul style="list-style-type: none"> 未提出者は居残り。 |
| 12月11日(水) | <p>(1)ブックレポート輪読会</p> <ul style="list-style-type: none"> 班で読んだ新書の内容を説明し合いながら、質疑応答を行う。 各班で優秀なレポートを選出する。【企画部へ提出】 ブックレポート回収。【後日返却してください】 |
| 1月9日(木) | <p>優秀レポートプレゼンテーション 7クラス【音楽ホール】</p> |

10月2日(水)の実施要項

◎9月27日(金) LHR、10月1日(火) SHRで探求学習マニュアルの特参を連絡して下さい。
※当日、忘れた生徒は配布の資料を担当者でコピーしてお使いください。

①後期思索パワーポイントで後期の活動を説明する。

- ・後期のテーマは「ブックレポート・輪読会と優秀レポートプレゼンテーション」
生徒ネットワーク上の教員フォルダ/03 総合学習 2019/1年/10月2日

②左記の「今後の日程について」を説明する。**資料配布**

※ブックレポート、プレゼンテーションの例をおいてます、必要に応じて使ってください。
生徒ネットワーク上の教員フォルダ/03 総合学習 2019/1年/10月2日

③ブックレポートについて説明する。**日程裏面参照、ブックレポート配布**

- ・ねらい、流れ、大テーマ、●印(記入発表内容、ポイント)について説明する。
- ・新書、評論文を準備すること。
- ・ブックレポートの注意点は、●印④にあるように「自分と反対の立場の意見」を盛り込むこと。
*新書などは著者の意見が明確に述べられているものを選ぶこと。
- ・11月6日は新書を読んでもよいし、レポートを書き出してもよい。
- *11月2日までに提出すること。(未提出者は居残り！)

④スキルトレーニングの実施

- ・テーマは「要約」
- ・探究学習マニュアルの P62-65 に取り組み。

<取り組み例>

①②③資料配布、説明 13分

④P62,63 ステップ4-4 「要約の方法を知ろう②〜中級編〜」
ステップ1〜6を使って要約の流れを確認する。 7分

P64,65 ステップ4-5 「要約をやってみよう」

ステップ1〜6に取り組ませる。 15〜20分

隣同士や班などで書いたものを確認し合ってもよい。

第1学年 思索と表現(後期)実施要項

生徒用

1. 今後の日程と内容について

| 日程 | 内容 |
|----------------|--|
| 10月2日 (水)8限 | (1)スキルトレーニング P62,63 ステップ4-4 「要約の方法を知ろう」 p64,65 ステップ4-5 「要約をやってみよう」 (2)ブックレポートの作成について ・裏面参照 |
| 11月6日 (水)8限 | (1)ブックレポートの作成 ・新書を1冊持参する。 当日までにテーマA〜Cに即した自分の興味関心の高い新書を探し持参する。 *自分の将来の方向に近い分野が好ましい。 (2)新書を読む。 ・当日までに新書を読んだ人は、ブックレポートを書き始めてもよい。 |
| 後期中間考査 | 11月25〜28日 |
| 12月2日 (月) | ブックレポート提出 ※未提出者は居残り。 期日を考えて計画的に行うこと。新書は10月から読み始めてもよい。 |
| 12月11日 (水) | (1)ブックレポート輪読会 ・班で読んだ新書の内容を説明し合いながら、質疑応答を行う。 ・各班で優秀なレポートを選出する。ブックレポート回収。 |
| 12月16日 (月) | ・正副担任で優秀レポートの中から1部選出、企画部へ提出。 |
| 12月17日 〜25日 | ・プレゼンテーション作成(企画部から生徒に連絡) 作成指導は企画部が行います。 |
| 1月9日 (木) | 優秀レポートプレゼンテーション 7クラス【音楽ホール】 |

【テーマ A】グローバル社会における豊かな地域創生

【テーマ B】持続可能な社会と環境

【テーマ C】グローバル化の中の人間と科学

図書館に1年【思索と表現】新書コーナーを設置しています。

「思索と表現」1年： 新書や評論文を読み、ブックレポートを書く 生徒用

来年の活動に向けた課題意識につなげる

ブックレポートの流れ：

1. 大テーマをもとに小テーマを考え、新書を選んで読む（課題発見）
2. ブックレポートを書く（要約・考察・批判的思考）
3. グループで発表する（表現、他の意見や価値観を知る）

大テーマ：

【 テーマ A 】グローバル社会における豊かな地域創生

【 テーマ B 】持続可能な社会と環境

【 テーマ C 】グローバル化の中の人間と科学

【小テーマの例】

- ・台湾、中国、朝鮮半島などの東アジア/アメリカ、西欧諸国などの関係から考える
- ・世界や日本で起こっている問題（紛争、格差、差別、宗教、教育など）から考える
- ・共同研究、経済、文化、観光、農業など、他国と関わりの深い分野を通して考える
- ・科学やテクノロジーの平和利用、課題解決のための進歩について考える
（宇宙開発、生物学、物理学、数学などの研究がどう進歩していくのか、どうあるべきか等）
- ・生命倫理、医療倫理を通して考える
- ・日本のあり方を通して考える（社会、福祉、人権、教育、経済、環境、科学技術など）
- ・地域での活動を通して考える（自分たちができること）
- ・二つのものごとを比較し、共通点や相違点、メリットやデメリット、関連性などを考える

●ブックレポートに記入し発表する内容

- ①著者の主張はどのようなものだったか（著者が一番述べたかった意見）
- ②それについて自分は賛成か反対か（両方の視点を持ち、最終的にどちらか立場を選ぶ。）
- ③なぜその考えに至ったのか（根拠・理由）
- ④自分と反対の立場の意見はどうか（根拠・理由。反対の立場の人はなぜそう考えるか。）
- ⑤上記④への反論（根拠・理由）

●上記②～⑤（考察の部分）を書くときのポイント

- ・建設的で前向きな意見であること。
- ・世界の平和、持続可能な社会を目指すものであること。
- ・自分の意見を述べる時は、賛成/反対、両方の立場を考えてから述べよう（上記④、下の例を参照）。
- ・今回選んだ本に反対意見が書いていなければ、別の本や新聞記事を参考にし（著者が明確なものであること。目次を見て、ある一部分だけを読んでもよい。）、メモしておく。

●新書を選ぶときのポイント

- ・著者の意見が明確に述べられているもの（目次を読んで確認、特に「はじめ」と「おわり」に注目するとよい）。
- ・著者の名前やプロフィールが明記してあるもの。

ブックレポート 年 組 番 氏名： レポートNo.

| | |
|----------|--------------|
| 参考文献： | 本・新聞記事・雑誌・論文 |
| 著者名： | 発行年： |
| 書名・記事名： | [(雑誌)巻号 頁] |
| 出版社・新聞名： | [(新聞)年月日] |

要約

- ① 著者の主張はどのようなものだったか（著者が一番述べたかった意見）

考察

- ② 上記①について自分は賛成か反対か（両方の視点を持ち、最終的にどちらか立場を選ぶ。）

- ③ なぜその考えに至ったのか（根拠・理由）

- ④ 自分と反対の立場の意見はどうか（根拠・理由。反対の立場の人はなぜそう考えるか。）

- ⑤ 上記④への反論（根拠・理由）

2 第2、3学年「思索と表現」実施記録
 (1) 第3学年「思索と表現」優秀論文一覧

| | | | |
|--|--|-----|--------|
| グローバル化社会における理想的な国際語についての考察 | A Study of an Ideal International Language in the Globalizing Society | 3-5 | 中村拓人 |
| 鳥取へのUターン・Iターン増加方策 | Increase Strategy of U-turn and I-turn to Tottori | 3-7 | 吉澤華乃 |
| 子どもの体力の解明 | The Clarification of Children's Physical | 3-2 | 植田咲菜 |
| 世界の事例から見る日本の女性労働の現状と解決策 | See From Overseas Cases, Women Laboral Current Status and Solution in Japan | 3-5 | 倉光桃花 |
| 年々低下する子どもの体力の実態とその対策 | The Real Conditions of Children's Strength has been declining year by year and that measures | 3-7 | 的場菜月 |
| 鳥取の市街地整備と大火の影響 | How Tottori Big Fire Effected the Land Rezoning of Tottori City? | 3-5 | 上川直生 |
| 留学における学生側と大学側のニーズの差とその解消に関する考察 | The Gap of the Needs Between Students and Universities and the Consideration How to Solve it | 3-5 | 倉田佳祐 |
| 効率的な言語取得策 - 3カ月で韓国語を覚えるには - | An Efficient Way of Studying Korean | 3-3 | 田中萌々子 |
| 無意識的常識の見つめなおし | Reviewing Unconscious Common Senses | 3-6 | 植田弦樹 |
| ガイナレ鳥取がJ2に昇格するための守備力向上の必要性 | Necessity of Improvement of Defensive Skills to Promote Gainare Tottori to J2 | 3-3 | 坪内優樹 |
| 加法混色による炎色反応の新色作成 | Create the New Color of Flame Reaction by Additive Color Mixing | 3-4 | 徳田拓巳 |
| 日本の環境に適した再生可能エネルギー | Renewable Energy Suitable for the Environment in Japan | 3-7 | 前田若加菜 |
| 西因幡は「目的地」となるのか ~鳥取西道路の開通から考える~ | To Stop Decreasing Tourists to the Western Part of Tottori City | 3-6 | 上田悠介 |
| 鳥取県再生可能エネルギーを考察する | Think about Sustainable Energy in Tottori | 3-1 | 佃尚樹 |
| 史料による鳥取県におけるカウソンの分布 | The Distribution of the River Otter (Lutra lutra) in Tottori prefecture, Japan, through Bibliography | 3-1 | 小野俊祐 |
| キャッシュレス社会を促進するために | To Promote a Cashless Society | 3-2 | 前田光留 |
| 鳥取市の映画文化振興策としてのドライブインシアターの提案 | Drive-in Theater Proposal for the Promotion of Movie Culture in Tottori City | 3-5 | 安住玲那 |
| 鳥取県の観光客とリピーターを増やす方策 | The way of increasing the number of tourists and repeat visitors who visit Tottori | 3-3 | 河崎 玲 |
| 長期的に外国人労働者の有用性を維持する方法 - コンビニへの提言、考察 - | The best way for foreign workers to work sustainable by doing suggestion and examination of convenience store | 3-5 | 森本琳太郎 |
| 鳥取県の健康状況から見る健康づくり活動の新提案 | A Suggestion for the Activity Promoting Health based on Health Condition of people in Japan | 3-1 | 藤村里奈 |
| 災害の種類を考慮した鳥取西高周辺の避難所及び避難経路図の作成 | Creation of Shelters and Evacuation Route Maps around Tottori Nishi High School Considering the Types of Disasters | 3-4 | 菜田玲子 |
| 水を冷媒の代替として用いた冷凍機における冷房能力の測定 | The Measurement of an Air Conditioner Ability that Use Water Instead of CFC Substitutes | 3-1 | 西川雄太 |
| 可視光に吸収帯をもつサリチル酸誘導体の合成 | Synthesis of Salicylic Acid Derivative has an Absorption Band in Visible Light | 3-2 | 濱田ゆりか |
| 児童が健全な放課後を過ごすための学童保育の在り方 | The Way of After-school Care for Children to Spend Good After-school | 3-1 | 河本望実 |
| How do you come? By Bicycle. ~Aiming to Bike Infrastructure~ | Reducing Greenhouse Gas Emissions by Increasing Bicycle Usage | 3-5 | 永島日向子他 |
| 鳥取市の気候を考慮した省エネルギー住宅の構築と実現への展望 | Investigation of Net Zero Energy House Considering the Climate of Tottori City | 3-1 | 織谷涼花 |
| スポーツを利用して鳥取県を活性化するには | How to Active Tottori Prefecture Using Sports? | 3-3 | 田中悠暉 |
| スポーツにみられる「男らしさ」と「女らしさ」 - 近代と現代のスポーツにおけるジェンダー観から考察する - | "Manliness" and "Womanliness" of Sports - According to Gender Perspective of Modern and Present Day Sports- | 3-6 | 山口峻也 |
| pHステイックを用いた鳥取における酸性雨 | Observation of Acid Rain Using pH Stick in Tottori | 3-4 | 沖田稜芽 |
| 岩美町浦富海岸の観光資源の持続的活用方法は見出せるか? | Can you find a method for sustainable use of tourist resources in Iwami town and Uradome beach? | 3-7 | 福本啓純 |
| 高校生をターゲットとしたコーヒー販売のためのパッケージデザインの研究 | The Research on Package Design to Sell Coffee to High School Students | 3-7 | 森えりか |
| 外国人労働者に関する制度の問題と解決策 - 生活環境の視点から - | Problems and Solutions about Systems of Foreign Workers: By Focusing on the Living Environment | 3-1 | 伊木陽妃 |

(2) 第2・3学年前期「思索と表現」実施記録

① 概要

第2, 3学年「思索と表現」前期では、全体目標である「グローバル化の中の地域創生」のもと、地域社会に主体的に参画し新たな可能性や価値を見出していくことを念頭に置いたうえで、縦割り班別の課題研究活動を実施した。

具体的活動としては、3つの大テーマ「グローバル社会における豊かな地域創生」、「持続可能な社会と環境」、「グローバル化の中の人間と科学」をさらに34の中テーマ（次ページ⑤参照）に区分し、中テーマごとに一人の担当教員が指導に当たった。4月実施の希望調査に基づいて、中テーマひとつあたり16名前後の生徒が割り振られたが、そこからさらに5～6名程度の班にわかれ、全99班がポスター発表をおこなった（班テーマは26、27ページ参照）。第3学年の生徒は研究内容を論文にまとめ、担当教員へ提出した。

② 日程

- 4月17日（水）7限 オリエンテーション 班分け
8限 活動開始 場所：各フィールドワーク教室
- 4月24日（水）7. 8限 研究活動 適宜外部指導者と連絡を取りあう”
- 5月 8日（水）7. 8限 研究活動（情報共有、分析、検討）
- 5月22日（水）7. 8限 研究活動（情報共有、分析、検討）
- 6月 5日（水）7. 8限 ポスター・論文作成オリエンテーション、研究活動（情報共有、分析、検討）
- 6月12日（木）5～8限 研究活動（情報共有、分析、検討）
- 7月 3日（水）7. 8限 プレ発表準備、発表内容の修正・精査
- 7月10日（水）7. 8限 プレ発表と相互評価
- 7月11日（木）8限 発表準備
- 7月12日（金）午前中ポスターセッション（外部指導者による評価）
5限ポスターセッション振り返り

③ 外部講師

以下の外部講師を招聘し、生徒の研究活動において指導助言をいただいた。

中テーマ3 鳥取大学 地域価値創造研究教育機構 准教授 成清 仁士 様

中テーマ12 有限会社鳥取珈琲館 常務取締役 田中 治 様
鳥取県商工会議所青年部 副会長 西川 昌孝 様

中テーマ20 鳥取県女性活躍推進課 課長補佐 澤田 祐一 様

④ 指導マニュアルについて

今年度より指導マニュアル「2・3年生前期『思索と表現』の実施にあたって」を作成し、全職員に配布した。内容としては、具体的な実施計画表、年度当初の確認事項、生徒提出資料のひな型、研究ノート記入例、ポスター作製および論文執筆に関する資料、問いの立て方に関する資料など、これまで別々に配布していた諸資料を系統だてて冊子にしたものである。年度当初の職員会議では、探究学習の要点である「問いをどう立てるか」についてマニュアルを用いて研修を実施した。

⑤中テーマ一覧

| 大テーマ | 中テーマ番号 | 中テーマ | 内容 | 教室 | 担当者 |
|------|--------|---------------------------------------|--|------|--------|
| A | 1 | 「鳥取」の観光ブランド力 （「鳥取」らしい観光戦略） | 「鳥取」を観光県としてPRしていくために、どうすればよいのか？なにが足りないのか？何が弱いのか？を考察していく。 JR西日本の豪華列車「TWILIGHT EXPRESS 瑞風」が登場し、新たな「鳥取」のブランド力を高めていく方策や「温泉」を活用した「鳥取」らしい観光戦略などを研究してみませんか。 | 2年1組 | 霧村 年宏 |
| | 2 | 鳥取西道路の開通にともなう鳥取市の経済効果について | 鳥取西道路が開通することで、これまで鳥取砂丘に来ていた関西からの観光客の宿泊先に変化はみられるか。また、それにとまなう鳥取市の経済効果はどれぐらいか。倉吉、米子への宿泊が増加するならば、どのような対策をとれば良いかなどを考察する。 | 2年1組 | 児玉 正則 |
| | 3 | 新しい鳥取の地域活性化 | 鳥取県は「2019年に外国人が訪れるべき日本の観光地ランキング」で1位に選ばれるなど、観光面で先進的な取り組みをしている。鳥取における地域活性化の実情を「経済成長」、「人口減」、「観光」等の切り口から分析し、新しい地域活性化のあり方を具体的に提案する。その際、藤谷浩介氏の『観光立国の正体』『里山資本主義』等の著作を参照する。 | 2年2組 | 松田 裕史 |
| | 4 | 鳥取県の人口を増加させるには | 近年鳥取県の人口は60万人を割り全国最下位である。なぜなのか、またどうすれば人口を増加させることができるか。様々な観点からその策を考えてみる。 | 2年2組 | 浅田 真一 |
| | 5 | 近現代の鳥取を知ろう | 近現代の鳥取に関する歴史史料を調べます。具体的テーマは、個人あるいは班で、絞り込みを行います。また、この作業を通して、歴史学の研究方法に触れていきましょう。 | 2年3組 | 前田 孝行 |
| | 6 | 鳥取の映画文化を守るか。 | 鳥取における映画に関わる情勢の変遷を調べたり、通常の配給ベースに乗りにくいドキュメンタリー映画の鳥取での上映状況について調べたりする中で、いかに豊かな映画文化を守り、あるいは作り出していけるかを考える。 | 2年3組 | 瀧下 英樹 |
| | 7 | 鳥取県の地域医療の課題と展望 | 鳥取県における地域医療の課題をさぐり、どういった展望があるのかを研究する。できれば、鳥取県の地域医療に携わる医師、看護師、助産師、保健師等を目指す生徒を対象としたい。鳥取大学の地域医療講座の先生を招いたり、野の花診療所(徳永Dr.)や鳥取県庁内の地域医療政策課に直接出向いたりというような受け身でない活動を目指す生徒を対象としたい。 | 2年4組 | 苗村・石谷 |
| | 8 | 高共働き率社会・鳥取における、放課後の児童の健全な居場所、過ごし方とは？ | 保育園で19時まで安全な環境で過ごさせていた子どもが、就学後は放課後の時間を一人で過ごさなければならなくなる…「小1の壁」問題について研究し、児童の放課後の過ごし方の現状・問題点の把握、他府県や海外の事例検証などを踏まえ、鳥取市における児童のよりよい放課後の過ごし方を考え提案する。学童保育のあり方のほか、運動・体験等の環境整備や保護者支援体制づくり等、現実に向けた提案を目指す。 | 2年5組 | 安治 陽子 |
| | 9 | スポーツで鳥取県を元気にするには | 自国開催のオリンピックを翌年に控え、国民の機運も高まりつつある。オリンピックに限らず、スポーツにはその活躍や存在によってそこに所属する人々が元気になる効果がある。鳥取県をスポーツの力で元気にする方策を考える。 | 2年5組 | 中澤 雅樹 |
| | 10 | 鳥取で働く「外国人労働者」の今とこれから | 外国人労働者の受け入れを拡大する新制度が4月1日から始まり、政府は5年間で最大345,000人の受け入れを見込んでいる。鳥取では今どうなっているのか、これからどうなるのか、何ができるのか。行政、雇用側、外国人労働者やその家族、新しくできるコミュニティ、受け入れるコミュニティなど、様々な立場から見た現状・課題をリサーチしながら、課題解決方法や可能性を探っていく。 | 2年6組 | 中田 典子 |
| | 11 | 魅力的な大学の国際交流を考える | 大学が行っている国際交流にはどのようなものがあるか。その目的や効果等をリサーチし、比較研究することを通して、本当に魅力的な大学の国際交流の形を考察する。 | 2年6組 | 高田 智弘 |
| | 12 | コーヒーに関する研究 | コーヒーとカフェについての知識を共有し、フェアトレード、焙煎法、抽出法とその器具、商品化の企画などを考え、美味しいブレンドコーヒーの開発や、オリジナルのパッケージでの製品化と販売等について研究する。 | 2年7組 | 吉田 豊 |
| B | 13 | キャッシュレス社会への対応 ー金融・経済のしくみを知らうー | ○クレジットカード、デビットカード、QR決済などキャッシュレス社会の進展とその仕組みの理解。 ○キャッシュレス社会のメリット・デメリット。 ○私たちは現代の金融・経済のグローバル化にどのように対応していくべきか。 | 2年7組 | 三好 幸一郎 |
| | 14 | 低炭素排出社会を目指すために鳥取西高生にできることは何か？ | アデレード大学参加者やSCOPAなど環境問題に取り組んでいる経験を生かし、低炭素排出社会を目指す上で鳥取西高生はどんなことができるのかを探る。 例： ■鳥取西高が発電している電力を、何かしら目に見える形で教室で使用することができないか検証する。 ■鳥取西高生として具体的に取り組んで、それが数値化できるものはないか検証する。 | 3年1組 | 中田 一幸 |
| | 15 | 気候変動を緩和する対策を十分なものにするために、どのような活動ができるか？ | 気候変動への日本の対応は十分なものでしょうか。地域の取組を確認し、対策をより一層進めるためにできることを明らかにしよう。インドの高校生との交流が入る可能性あり。研究成果は、3月に実施されるパリ協定に関する学生会議(SCoPA: Student Congress on the Paris Agreement)の基礎資料となるとともに、COP26(2020年11月、ロンドン開催)で発表される高校生による声明にもつながる取組です。 | 3年1組 | 中村 秀司 |
| | 16 | 環境にやさしいエネルギー源について | 日本のみならず世界の中で、環境に配慮したエネルギー源は問題になっている。日本のエネルギー源について、どの手段が最もよいのかを、海外の例や取り組みを参照しながら様々な角度から思索・分析し、将来性を含めて考える。 | 3年2組 | 前田 賢志 |
| | 17 | 鳥取県における再生可能エネルギーの有効性 | 「再生可能エネルギーはよいもの」という思い込みから離れ、その問題点や有効性について鳥取県の事例を検討したいと思います。例えば鳥取県の日照時間は他県に比べ多くはありませんが、太陽光発電はどの程度有効なのでしょう。また、鳥取県には多くの温泉がありますが、地熱発電はどのくらい行われていてどの程度有効なのでしょう。皆さんが疑問に思うものを取り上げて、検証してみましょう。 | 3年2組 | 中野 美紀 |

| 大テーマ | 中テーマ番号 | 中テーマ | 内容 | 教室 | 担当者 | |
|------|--------|--------------------------------|---|---|-----------|-------|
| | 18 | 大きなことばと小さなことば ～絶滅危惧の言葉たち～ | 現在、世界にはおよそ6900の言語がある。広い地域に渡り多くの人々に話されている「大きなことば」もあれば、特定の地域で少数の人々が用いている「小さなことば」もある。グローバル化の陰で消えていきつつある「小さなことば」に着目し、言語学や文化人類学の文献を参照し、言葉から想像する広がりに関する調査を行うことを通して、真のコミュニケーションへの手がかりを見つけてみたい。 | 3年3組 | 美田 宏子 | |
| | 19 | 3か月間で言語を身につける方法 | 世界中で、実に様々な言語が使われており、人々がコミュニケーションをとる上で大きな役割を果たしている。「全く韓国語を話せない私が3か月で話せるようになった方法」「全く手話を使えない私が3か月で身につけた方法」など、ポスターセッションまでの3か月間で人ほどこまめに言語を習得できるのか、素人だからこそできる自分自身の身をもって研究し、ベストな方法を編み出してみよう。 | 3年3組 | 尾崎 昭彦 | |
| | 20 | 女性が本当に活躍できる社会を作ろう | 平成27年に「女性活躍推進法」が制定され、数字の上では社会で活躍する女性の割合が増えている。しかし、実際に女性が働きやすい社会になっているのだろうか。まずは鳥取の現状を知り、日本社会全体に提言できる施策を考えてみましょう。 | 3年4組 | 桃木 貴子 | |
| | 21 | ジェンダー視点から歴史をみてみよう | ジェンダー視点から歴史をみてみると、歴史のまた異なった面がみえてきます。「政治・経済」「文化」「教育」の3グループに分かれ、ジェンダー視点をもって歴史を考察し検討してみましょう。そして、歴史に学び、現代の諸問題についても考えてみましょう。 | 3年4組 | 山岸 裕子 | |
| | 22 | 差別のメカニズムとその影響 | 差別は、人間の認識の問題であって、心がけや正義論では解決することはできない問題だ。差別の原理的追究・理解と社会構造との関係を探求することによって、今日的課題を明らかにしていきたい。自己に差別がどのように影響しているのか。差別にこだわりのない人間には差別からの解放はない。 | 3年5組 | 坂口 俊広 | |
| | 23 | 日本と世界の労働法 | 「日本の労働者は働きすぎ」と言われ続けていますが、労働環境や労働者を保護する法律などの国際比較から、その実態を検証します。そして、これから先みなさんが幸福に働いていける社会をどうつくっていくのかを考えていきましょう。 | 3年5組 | 坪倉 潤也 | |
| | 24 | 鳥取西高防災マニュアルをつくる | 近年、東日本大震災や西日本豪雨など様々な自然災害が発生し大きな被害を受けている。鳥取で生活する我々にも他人事ではなく、生活する場のどんな状況でどんな危険があるか把握し、適切な判断や備えをすることが求められる。 ・鳥取西高やその周辺で起こりうる災害を考える。 ・授業中、休憩時間、部活動、登下校など、様々な状況における危険な状況を考え、対策を練り提言する。 ・学校が地域の防災センターとしてどのような可能性をもつかを探る。 | 3年6組 | 前田 憲幸 | |
| | C | 25 | 子どもの運動に対する二極化への対策 | 近年、運動をする子どもとしない子どもの二極化が顕著になっている。それによって体力レベルにも差が生じていること、その背景にある運動習慣や生活習慣と体力との関係について検証したい。また、今後の部活動の在り方についても考えたい。 | 3年7組 | 佐々木伸順 |
| | | 26 | 子どもの体力について | 文部科学省の調査によると、子どもの体力は昭和60年頃から低下が続いている。なぜ、そのような状況が生じているのか、またそのことによる影響、今後どうあるべきかを考える。 | 3年7組 | 山本 尚徳 |
| | | 27 | 西高敷地内の再生可能エネルギーを利用したエアコンの開発 ～SDGsの視点でのものづくり～ | 機械が好きな人、工作が得意な人、大歓迎。 エアコンの冷媒には体育館裏の水を利用します。 送風には西高太陽光発電の電力を利用できれば・・・ | 選択12 1 | 坂尾 俊介 |
| 28 | | 身の回りの環境を計測する。 | 地球温暖化の原因は温室効果ガスだと言われていますが、実際に空気中の二酸化炭素濃度を調べたことがありますか？酸性雨という言葉は知っていても、実際に雨水のpHを調べたことがありますか？植物の成長に必要な土壌中の無機塩類が実際にどれくらい含まれるか調べたことがありますか？自分の手で調べて「実感する」ことで初めて環境やバイオの課題が見つかるのではないのでしょうか。 | 選択12 1 | 勝原 雅人 | |
| 29 | | それは偶然なのか？ 統計学で考える | 日常のさまざまな現象をとりあげ、それが偶然に起こったことなのか。感覚的な予想を、データを統計学的に分析して比較してみましょう。 | 選択12 2 | 西尾 哲夫 | |
| 30 | | 数学で部活動のチームを変えよう | 「セイバーメトリクス」「サッカーマティクス」を知っているだろうか。古くはヤクルトスワローズ野村克也監督が「ID野球」と称される「データを元にした」独自の野球理論を提唱したが、大リーグではそれ以前からデータを元にした野球理論、球団経営がなされていた。既習の数学と部活動が所持しているデータなどから、部活動のチーム・競技の強みや弱みを発見し、提言できたら面白いと思っています。 | 選択12 2 | 橋中 淳一 | |
| 31 | | 絶滅危惧種と私たちの生活のかかわり方を考えよう。 | ネットに公開されているレッドデータブック。意外と身近な動植物が絶滅危惧種として掲載されています。身近な絶滅危惧種のかかわりを見つめなしてみよう。テーマ例は「キマダラルリツバメ(久松山に生息する蝶)と保護区域」「ニホンウナギと食生活」「クジラと食生活」「大型哺乳類(イノシシやクマ)の保護と駆除」など | 選択12 3 | 下河 健一 | |
| 32 | | ニホンオオカミやニホンカワウソは鳥取県からなぜ姿を消したのか | かつて全国に生息していたニホンオオカミは明治末に奈良県で捕獲、またニホンカワウソは昭和50年代に高知県で目撃されたのを最後に今日では絶滅したとされている。本県では青谷上寺地遺跡からそれぞれの骨が出土しており、かつて本県にも生息していたことは確実である。では何故、本県からこれらの動物が姿を消したのか、人との関わり、環境の変化等も考慮に入れながら、その原因を追究していく。 | 選択12 3 | 清水 太郎 | |
| 33 | | 有機化合物の可能性 | 有機化合物を使って実験を行う。合成や同定、分離法など、高校の実験室ではちょっと難しいかもしれないがやってみよう。サリチル酸を出発物質にする予定です。 | 選択13 4 | 矢澤有希子 | |
| 34 | | 光と色の不思議を探る | 色の不思議を化学的に考えます。塗料(染料・顔料)を切り口にして、光の吸収と発色について物質の構造をもとに考えます。 | 選択13 4 | 寺垣 智文 | |

⑥ 2年生ポスター作製資料

6月5日(水) 8限「恩恵と表現」ポスター原案作り【生徒用】

2年 組 番 氏名()

スライドで見たポスターの作り方を参考にし、以下のことを考えてみましょう。

このシートは、班活動で共有しましょう。

その1. タイトル・テーマ (ポスターの1枚目)

自分たちの研究内容を的確に表現するタイトルを考えましょう。

良い例: 高校生が考えた鳥取駅前商店街地域活性化施策は集客効果があるのか?
地域の取り組みは、日本全体の食品ロスを減らせるのか?
今までにない臨時的壁面緑化プラン ～安く・楽しく・簡単に～

疑問形だと中心テーマが分かりやすく、ポスターを展開しやすい
・オリジナルの研究であることを表現すると良い

悪い例: 地域の医療問題について

〇〇についてというタイトルだと焦点が分かりにくい

その2. 研究の目的・問い・動機 (ポスターの2枚目)

【原稿案の例】 日本の将来を担う子供たちに、食の大切さを知ってもらうために「食育」を通して研究をしたいと考えた。特に「じげ」の食材を積極的に使い、学食や給食を提供する「地産地消」の取り組みと、「廃棄野菜」の活用を組み合わせることで、さまざまな波及効果が生まれ、食品ロスを減らせるのではないかと考えた。

そのままポスターにすると字が多くて分かりにくいので簡潔に

子どもたちに「食育」を通じて食の大切さを知ってもらいたい
・「じげ」の食材の地産地消の取り組み
・廃棄野菜の活用 } を組み合わせることで食品ロスを減らせるのではないかと考えた?

【原稿案】

【ポスター】

「ポスター」の軸となる資料【生徒用】

2年 組 番 氏名()

※この資料はポスターのもとになるものなので、詳細に書く必要はありません。何をどのように書くかを班内で確認するためのものですので、大まかなところを箇条書きなどで書いておきましょう。
※7月はじめまでにこの資料を完成させて、ポスターを作製してください。

1: タイトル (研究題目)・生徒の学年クラス氏名

2: 問い、研究動機、研究目的

3~6: 主題・理由・根拠・実験方法、実験結果など

7: 反ばく (予想される反論やデメリット→反論への反論、打開策)

その3. 1と2が出来た人は3枚目以降の原案を考えてみましょう

データやグラフなどがあればどれをどのように使う

結論として何を言うか?

参考文献リストは作ってあるか?

「ポスター」資料づくり

※この資料は基になるものなので、詳細に書く必要はありません。何をどのように書くかを班内でしっかりと確認するためのものですので、大まかなところを箇条書きなどでおきましょう。

1: タイトル (研究題目)・生徒の学年クラス氏名

研究内容を上手く表現するもの等を考えてみましょう。

2: 問い、研究動機、研究目的

研究内容を結びつけた適切な問いになっているか?

(タイトルと同じものでも構わない)

なぜ、この研究を実施するのか、どのような問題意識があったのか、何に興味関心をもったのか、

何を明らかにしたいのか等を説明しよう。

3~6: 本論・主題・理由・根拠・実験方法、実験結果

理由や根拠を、十分な考察のもとに取り入れて、論理的で説得力のある内容になるように考えていこう。

実験やアンケートをしたのであれば、その方法、手順、その結果をまとめよう。→グラフや表などを書き入れる

時間がなければ、どのようなものを作るかの計画をしておこう。

7: 反ばく

予想される反論やデメリット、実現を阻んでいる要素などを挙げよう。→その反論 (反論の反論)、打開策などを準備しておこう。

8: 結論・考察

理由や根拠などの本論と、反ばくを踏まえた上での主張を述べよう。

9: 今後の課題や次年度への引き継ぎ内容

自分たちの研究で分かったことと分らなかったことを明確にする。何が分からなかったのか、それをどうすれば分かるようになる (かもしれない) のか、どのような工夫をすればより良くなるのか、来年度もし継続するとすればどのような提言やアドバイスができるかなどを考えよう。

10: 参考文献・ホームページ

1. S.C.モリス 「カンパリアの怪物」講談社,1997
2. 平野弘道監修 「恐竜はなぜ滅んだか」講談社,1988
3. 玉川太郎 「恐竜の進化と生命」毎日新聞,2014/4/18 朝刊
4. 福井県立恐竜博物館 <http://www.dinosaur.pref.fukui.jp/>

その他: まとめ・要旨

上の要点のみを抜き出して、200字程度のまとめをつくらう。

→発展的に、学会発表用ポスターに仕立てよう! (参考ポスターを参考に)

8: 結論・考察

9: 今後の課題や次年度への引き継ぎ内容

10: 参考文献・ホームページ

その他: まとめ・要旨

⑦ 3年生提出論文について

- 提出期限 7月22日(月) 講座担当者に提出。
- **体裁** A4用紙で提出。表紙1枚。本文は2枚以上(2000字以上)にまとめる。
手書き・タイプは不問。
- **構成** 配布した「論文」の軸となる資料に基づいて書く。「はじめに」として研究の概要を述べ、続けて2～3つの章に分けて自分の主張を展開(本論)。最後に「考察とまとめ」として、論文をまとめる。

1枚目：表紙

「タイトル(研究題目)」
副題(サブタイトル)が有れば書く
「英文タイトル」
「Abstract(英文要旨)」
「キーワード」(日本語)
「Key Words」(英語)

担当教員：〇〇先生
鳥取県立鳥取西高等学校
3年〇組〇番 〇〇××

2枚目以降

第1章 はじめに

研究対象の現状、課題に関する定義、先行研究の整理と課題
(全体の1割程度の量)

論文のテーマは何か、なぜこのテーマで研究をしようと思ったのか、どのような問題意識があったのか、何に関心を持ったのか等を書く。中心論点や「問い」を明確にする。仮説を提示しても良い。

第2章 目的と方法

研究対象の選定、調査・研究方法

第3章 結果

調査結果、図表、アンケート結果、分析結果
(第2章～第3章は全体の7～8割程度)

章を2つ～3つくらいに分ける。主張を裏付ける証拠やデータを示す。また、文献などからの引用を示す(必ず文献番号を書く)。主張に対して予想される反論と、それへの反論があれば書く。

第4章 考察とまとめ

分析に対する考察、調査結果から得られた結論、今後の課題
(考察・結論は全体の1割程度)

考察結果の再確認や主張の再提示を行う。この論文では解明できなかった点や、考察が不十分だった点、今後の課題や展望を述べる。

参考文献

著者名 「書名」 出版社 (出版年) ※書籍の場合
著者名 「論文名」『論文雑誌名』巻号 掲載ページ
(出版年) ※論文の場合

参考文献：桑田てるみ編 学生のレポート・論文作成トレーニング 実教出版株式会社 (2015)

(3) 第2学年後期「思索と表現」実施記録

(1) 活動概要

今年度の第2学年生徒より、第3学年の「思索と表現」において個人研究を実施することになった。第2学年後期では、来年度の研究に向けて生徒個人ごとに研究課題設定をおこない、先行研究をまとめることが主な活動内容である。到達点として、2月に個人研究論文の一部（第3学年提出論文の第1・2章該当部分）を提出することが目標となった。

(2) 活動の流れ

- 10月 2日（水） 8限 テーマ決定・分類アンケート実施
個人研究テーマを決定する。
この日のアンケートに基づき、次回からはテーマ別の会場で実施。
- 11月 6日（水） 8限 後期活動内容説明・先行研究調査開始
以下、先行研究は文献中心にあたり、『探究学習マニュアル』の参考文献リスト、ブックレポートを作成しながら進める。
- 12月11日（水） 8限 先行研究調査
- 1月 8日（水） 8限 先行研究調査
- 2月10日（月） 個人研究論文 提出日
- 3月11日（水） 7限 個人研究発表会
同じ研究分野の生徒同士で個人研究を発表し、評価の観点に応じて互いの研究について評価・助言を行う。

(3) テーマ別 会場・担当者一覧

| 分類番号・テーマ | 人数 | 会場 | 担当者 |
|---------------------------------|----|------|----------|
| 1 地域振興、2 子育て・少子化 | 35 | 2-1 | 浅田・霜村 |
| 3 教育、4 多文化、5 福祉、6 国際関係、7 法律 | 36 | 2-2 | 中田一・中野 |
| 8 経済、9 環境 | 33 | 2-3 | 寺垣・三好 |
| 16 哲学・文学・心理学、22 数学 | 33 | 2-4 | 美田・吉田 |
| 10 貧困、11 差別、12 紛争、13 言語 | 38 | 2-5 | 坂口・桃木・坪倉 |
| 14 文化・芸術、15 歴史、17 保健・スポーツ | 39 | 2-6 | 清水・中澤 |
| 18 食品、19 医学、20 工学、21 産業 | 35 | 2-7 | 西尾・松田 |
| 23 物理、24 天文、25 化学、26 生物、27 農林水産 | 28 | 選234 | 下河・矢澤 |

(4) 第3学年後期「思索と表現」実施記録

①概要

第3学年「思索と表現」の後期には、これまでの学習をベースにした小論文・志望理由書等を作成する活動を行った。個々の生徒の進路に応じて文章を記述し、同様の進路を志望している生徒同士で輪読・意見交換をするなどの内容を実施した。

②日程

| | | |
|-----------|-------------|-------------------|
| 10月 2日(水) | 各クラスで実施 | アンケート・志望理由書の記入・提出 |
| 11月 6日(水) | 各テーマに分かれて実施 | 小論文・志望理由書等の記述・輪読 |
| 12月11日(水) | 各テーマに分かれて実施 | 小論文・志望理由書等の記述・輪読 |

③テーマ別グループの設定

進路志望アンケートを実施し、結果に基づいて16テーマ、9会場に分かれて実施した。

| 会場割り | テーマ | 担当者 |
|----------|--|----------------|
| A | テーマ1 文・哲・歴史・地理・心理(27人) | 尾崎 山岸 |
| B | テーマ2 外国語・言語(5人) テーマ5 社会・福祉(12人) テーマ6 国際関係(10人) | 高田 中田典 |
| C | テーマ3 法・政治(13人) テーマ4 経済・経営・商(20人) | 前田孝 前田賢 |
| D | テーマ7 医・歯(22人) | 苗村 石谷 |
| E | テーマ8 看護・保健(32人) テーマ9 薬(13人) | 橋中 山本 |
| F | ⑥テーマ10 理系I(数・物理・化学・工)(59人) さらに3教室に分かれて実施 | 児玉 坂尾 勝原 |
| G | ⑦テーマ11 理系II(農・生物・生命)(21人) | 前田憲 |
| H | テーマ12 教育(21人) テーマ15 体育・スポーツ(4人) | 瀧下 佐々木伸 |
| I | テーマ13 家政・栄養・児童(5人) テーマ14 芸術(5人) テーマ16 就職・公務員試験(3人) | 安治 中村 |

3 「思索と表現」ポスターセッション実施記録

- 1 日時 令和元年7月12日（金） 午前9時20分から午前11時55分まで
- 2 目的 課題研究「思索と表現」における探究活動の概要をポスターにまとめて発表し、相互に評価することで、研究内容を振り返り今後の課題を明らかにする。また、ポスター作成と発表を通して、論理的に話を展開して他者にわかりやすく伝える方法を身につける。
- 3 参加生徒 本校全校生徒 2、3年生は全員が発表者および評価者として参加
1年生は代表7班が発表し、その他の生徒は評価者として参加
島根県立出雲高等学校代表生徒

4 実施内容

(1) 当日までの日程

| 日時 | 会場 | 活動内容 |
|-----------------------------|--------|---------------|
| 7月10日（水） 15:00～ 16:20 | 各班活動教室 | ポスターセッションプレ発表 |
| 7月11日（木） 15:00～ 15:40 | 各班活動教室 | ポスター、発表最終準備 |
| 7月12日（金） 9:20～ 11:55 | 発表会場 | ポスターセッション |

- ・ポスター作成は2年生中心（3年生は論文作成）におこなう。
- ・プレ発表で課題点などを明らかにし、前日準備で修正したものを当日発表する。

(2) 当日の日程

| 1年生・生徒 1年・担任 | 2・3年生生徒 2・3年団教員 | 企画係（専任、学年企画） |
|---|--|----------------------------------|
| 8:20 SHR 8:40 発表概要の資料を読んで待機 9:10 移動開始 | 8:20 SHR 8:40 教室整備 机・椅子を動かした後は各自の発表会場準備 準備完了後はリハーサル、1回目に向けた移動 | 8:20 最終打ち合わせ ・各会場準備 ・受付・接待 |
| 9:20 ポスターセッション 開始 11:55 ポスターセッション 終了 | | |
| 11:55 片づけに協力 12:10 昼休憩 | 11:55 パネル片づけ・教室復元 12:10 昼休憩 | 11:55 来賓対応 片づけ確認等 |
| 【5限】12:50～ 13:35 各担当教室で SGHに関するアンケート | 【5限】12:50～13:35 ・各担当教室で点呼 ・評価に対する振り返り ・SGHに関するアンケート 自己評価など | 片づけ完了が確認でき次第、 自分の担当教室へ |
| 【6限】(13:45～14:30) | 進路LHR | |
| 【7限】(14:40～15:25) | 西高祭LHR | |

- (3) 会場 鳥取県立鳥取西高等学校
教室（2・3年生及び選択教室）、会議室、図書館、音楽ホール

(4) 発表詳細

①生徒への注意事項

- 20分間の発表を2回行う。各班の中で誰がいつ発表するか分担を決めておくこと。
 - ・5分間の移動時間は休憩ではないので速やかに動くこと。
 - ・10分間の休憩時間は、教室の椅子などに座って休憩してもよい。
 - ・1年生の発表は1回のみとする。
- 体調の悪い生徒は、近くの教員に申し出ること。
- 発表の開始時刻と終了時刻については校内放送を使用して指示する。
- 自分の教室外への移動が続くため水筒の携帯は許可するが、水分補給は休憩時間におこなうこと。

②発表タイムテーブル

| | | |
|-------------|--------------------------|--|
| 8:20～ 8:30 | SHR | |
| 8:40～ 9:10 | 会場準備 ポスター準備 | |
| 9:10～ 9:20 | 直前準備、リハーサル（1回目の発表に向けた移動） | |
| 9:20～ 9:40 | Aグループ 1回目 | 20分の発表時間・質疑応答は、各班で時間配分を行う。 Cグループで、出雲高校の生徒発表（日本語および英語）を行う。 |
| 9:40～ 9:45 | 移動（5分間） | |
| 9:45～10:05 | Bグループ 1回目 | |
| 10:05～10:15 | 休憩・移動（10分間） | |
| 10:15～10:35 | Cグループ 1回目 | |
| 10:35～10:40 | 移動（5分間） | |
| 10:40～11:00 | Aグループ 2回目 | |
| 11:00～11:10 | 休憩・移動（10分間） | |
| 11:10～11:30 | Bグループ 2回目 | |
| 11:30～11:35 | 移動（5分間） | |
| 11:35～11:55 | Cグループ 2回目 | |
| 11:55～12:10 | 片づけ・復元（終了次第昼休憩） | |
| 12:10～12:50 | 昼休憩 | |
| 12:50～13:35 | 振り返り・アンケート | |
| 13:45～14:30 | 進路LHR | |
| 14:40～15:25 | 西高祭LHR | |

5 評価

(評価者)

外部評価者（33名）、他校生徒（出雲高、倉吉西高、鳥大付属中）、本校生徒・教職員

(評価方法)

ループリック評価表による評価およびコメント欄への記述、口頭によるコメント等。

昨年まではプレ発表において教室代表を決定し、代表のみ外部評価者による点数評価の対象としていたが、今年からは点数評価・表彰はおこなわないこととした。

6 振り返り

ポスターセッション実施日の午後、各担当の教室で、ループリック評価や記述を見ながら、これまでの学習の振り返り、SGHに関するアンケートを行う。

7 ポスタータイトル一覧

| 大テーマ | ポスター番号 | 中テーマ | 小テーマ |
|-------------------------|--------|--------------------------------------|---|
| | | 出雲高校① | 出雲神話をもっと盛り込んだ出雲駅伝にすると、島根に対する関心度も高まるのではないかな？ |
| | | 出雲高校② | Why is a next door neighbor portrayed as a villain in Japanese fairy tales? ~Villains in Japan and Western countries~ |
| A グローバル社会における豊かな地域創生 | 1 | 鳥取」の観光ブランド力 （「鳥取らしい観光戦略）」 | 鳥取大好きプロジェクト |
| | 2 | | 岩美町・浦富海岸の観光資源の持続的な活用方法は見出せるのか |
| | 3 | | 「いいね」で広める#鳥取 ~鳥取をもっとPRするには?~ |
| | 4 | 鳥取西道路の開通にともなう鳥取市の経済効果について | 鳥取西道路の開通は鳥取のためになっているのか |
| | 5 | | キャンピングカーの旅 in Tottori |
| | 6 | | 西因幡は「目的地」となれるか! ? ~鳥取西道路の開通から考える~ |
| | 7 | 新しい鳥取の地域活性化 | 人・自然・食材を生かした地域づくりで、鳥取を訪れる観光客とリピーターを増やそう! |
| | 8 | | 鳥取の食文化を売り出し経済効果をあげるためには? |
| | 9 | | 鳥取市の中心市街地の活性化のために何が出来るだろうか? |
| | 10 | 鳥取県の人口を増加させるには | 鳥取こそわが家 ~Uターン・Iターンを増やすには~ |
| | 11 | | 集まれ 鳥取の森 |
| | 12 | | 鳥取の人口増加におけるカニの建造物の心理的影響とその考察 |
| | 13 | 近現代の鳥取を知ろう | 鳥取の昭和時代の文化について知ろう |
| | 14 | | 鳥取城の戦国時代はどのようなものであったか |
| | 15 | | 鳥取大変遷☆ ~大火を越えて~ |
| | 16 | 鳥取の映画文化を守れるか。 | 1000円出す価値のある映画館づくり ~もう「田舎の映画館」なんて言わせない! ~ |
| | 17 | | シネマの叫び ~映画文化補完計画~ |
| | 18 | | 人を呼び込む映画館するには |
| | 19 | 鳥取県の地域医療の課題と展望 | 健康づくり活動の新提案 ~医療と地域の人々に架け橋を~ |
| | 20 | | 日本紅斑熱 ~現状と新たな対策を探る~ |
| | 21 | | 鳥取の医療の現状とこれから ~Your stereotype is true?~ |
| | 22 | | 救命革命 ~現状から見たこと~ |
| | 23 | | 子どもと地域医療 ~頼りやすい病児保育とは~ |
| | 24 | | Living will ~患者に求められること~ |
| | 25 | 高共働き率社会・鳥取における、放課後の児童の健全な居場所、過ごし方とは? | 鳥取の学童保育に利用者と支援員は満足しているのか |
| | 26 | | 理想の学童保育とは? ~児童が健全に放課後を過ごすために~ |
| | 27 | | 「小学生の放課後は家でゲームをするためにあるのか?」 |
| | 28 | スポーツで鳥取県を元気にするには | 鳥取県をスポーツで盛り上げるには? |
| | 29 | | 鳥取を世界へ ~スポーツで地域活性~ |
| | 30 | | スポーツイベントを通じた鳥取県の活性化 |
| | 31 | 鳥取で働く「外国人労働者」の今とこれから | エスニック料理で、鳥取をより快適な町にするには? |
| | 32 | | めざせ! 外国人労働者が住みやすい街! |
| | 33 | | 長期的に外国人労働者の有用性を維持するには? |
| | 34 | 魅力的な大学の国際交流を考える | ココだと留学完璧大学 ~私たちが考える理想の国際交流~ |
| | 35 | | GAP - Global Abroad Popularity |
| | 36 | | Let's research global exchange between Japan and Argentina |
| | 37 | コーヒーを楽しむ | 高校生がコーヒーをプロデュースしてみた ~コーヒーで鳥取を盛り上げるには~ マーケティング班 |
| | 38 | | 高校生がコーヒーをプロデュースしてみた ~コーヒーで鳥取を盛り上げるには~ デザイン班 |
| | 39 | | 高校生がコーヒーをプロデュースしてみた ~コーヒーで鳥取を盛り上げるには~ コーヒー製作班 |
| B 持続可能な社会と環境 | 40 | キャッシュレス社会への対応 -金融・経済のしくみを知ろう- | キャッシュレス社会を促進するために |
| | 41 | | 俺の、スコアどこ行った? ~ごま信用の進む社会~ |
| | 42 | | どのようにしたらキャッシュレスに移行できるか |
| | 43 | 低炭素排出社会を目指すために鳥取西高生にできることは何か? | How do you come? By bicycle! ~aiming to bike infrastructure~ |
| | 44 | | 持続可能な社会に向けた排出CO ₂ の回収と利用 ~火力発電によるCO ₂ 排出を0にする~ |
| | 45 | | Investigation of Net Zero Energy House considering the climate of Tottori City. |
| | 46 | 環境にやさしいエネルギー源について | 日本の再生可能エネルギーはどうあるべきか |
| | 47 | | 太陽光パネルで鳥取市の電力をどれだけ賄えるのだろうか |
| | 48 | | 鳥取県における再生可能エネルギーの有効性 |
| | 49 | 鳥取県における再生可能エネルギーの有効性 | 鳥取の再生可能エネルギーを考察する |
| | 50 | | TOTTORIなのに方言ねーじゃん!! ~そげな未来にせんために~ |
| | 51 | | 国際コミュニケーションのために ~世界共通語の観点から~ |
| | 52 | 3ヵ月間で言語を身につける方法 | 歴史から見る絶滅危惧語 ~その変遷と現代の言語~ |
| | 53 | | 話してみよう韓国語 |
| | 54 | | 私たちと第二言語 ~今からでも3ヶ月でマスターできるのか! ?~ |
| | 55 | 女性が本当に活躍できる社会を作ろう | あなたはいくつの言語を話せるようになりたいですか? ~日本語話者における諸言語の習得についての考察~ |
| | 56 | | 世界の事例から見る日本の女性労働の現状と解決策 |
| | 57 | | 育児・妊娠と仕事は両立できないのか |
| | 58 | ジェンダー視点から歴史をみてみよう | 女性に優しい職場を作ろう |
| | 59 | | 日本人女性の政治参加意識は低い! ? |
| | 60 | | スポーツの「男らしさ」と「女らしさ」 ~近代スポーツ史から読み解く~ |
| | 61 | 差別のメカニズムとその影響 | 教科書で満足するな ~ジェンダー平等を達成するために~ |
| | 62 | | Think about bullying |
| | 63 | | あなたは線を引いている ~障がい者殺人が訴えるもの~ |
| | 64 | 日本と世界の労働法 | あなたの好きになった人がゲイだったら? ~セクシュアリティと知識~ |
| | 65 | | 外国人労働者に関する制度の問題と改善案 |
| | 66 | | 長時間労働 ~社畜やめますか、人間やめしますか~ |
| | 67 | 鳥取西高防災マニュアルをつくる | みんなが働きやすい環境をつくるには ~男性と女性が希望する育休取得のかたちとは~ |
| | 68 | | 僕達は どう逃げるのか? |
| | 69 | | これで完璧! 避難できまっふ |
| | 70 | | 西高の災害時の対応は適切か |

| 大テーマ | ポスター番号 | 中テーマ | 小テーマ |
|---------------------|--------------------------------|--|---|
| C グローバル化の中の人間と科学 | 71 | | つきとめろ！！子どもの体力低下の原因 |
| | 72 | 子どもの運動に対する二極化への対策 | 人間の体力とスパルタの指導は比例 or 反比例 |
| | 73 | | どうして運動する人とならない人に差が生まれるのか？ |
| | 74 | 子どもの体力について | 子どもの体力は本当に低下しているのか |
| | 75 | | 子どもの体力低下の背景とは |
| | 76 | | 短距離を速くする方法 |
| | 77 | 西高敷地内の再生可能エネルギーを利用したエアコンの開発 ～SDGsの視点でのものづくり～ | 水冷媒を用いたエアコンにおける冷房能力の測定 |
| | 78 | | ペルチエ素子を用いたエアコンの製作と効率化 |
| | 79 | | 校地内の伏流水を用いた省エネエアコンの製作 ～人間用ラジエター開発編～ |
| | 80 | 身の回りの環境を計測する。 | 鳥取にも酸性雨は降っているのか？ |
| | 81 | | 見えないモノを見ようとして顕微鏡を覗き込んだ |
| | 82 | | 鳥取の水はそのまま飲めるのか？ |
| | 83 | それは偶然なのか？ 統計学で考える | 人は時間を待つ 時間は人を待たない |
| | 84 | | 塩に殺される！？ |
| | 85 | | 先生に当てられないためには！！ |
| | 86 | 数学で部活動のチームを変えよう | ガイナール鳥取J2昇格に向けて |
| | 87 | | データバレー勝利学 ～春高への道しるべ～ |
| | 88 | | データで試合に勝つには |
| | 89 | 絶滅危惧種と私たちの生活のかかわり方を考えよう。 | 鴛鴦応援隊 ～オシドリのためにできること～ |
| | 90 | | クジラなのか鯨なのか。～保護と捕鯨～ |
| 91 | 志気をあげて種の絶滅を乗り越えろ！！ | | |
| 92 | ニホンオオカミやニホンカワウソは鳥取県からなぜ姿を消したのか | 鳥取にカワウソはいたのか？ | |
| 93 | | ニホンオオカミは鳥取県に存在していたのか。 | |
| 94 | 有機化合物の可能性 | サリチル酸とメラミンの実用性 | |
| 95 | | 有機化合物でつくる ～しつぶの可能性～ | |
| 96 | | 指示薬作っちゃった！！～可視光に吸収帯をもつサリチル酸誘導体の合成～ | |
| 97 | 光と色の不思議を探る | 明治マーブルチョコとm&m's 色素の違いって？ | |
| 98 | | 虹色の炎を作る | |
| 99 | | れいんぼーのヒ・ミ・ツ | |
| 1 年生 代表 | 1組 | 鳥取の医療保健福祉を考えよう | 鳥取の医療制度改革！ |
| | 2組 | 災害に強い街づくりを考えよう | 災害に強いまちづくり ～共助による避難所の運営・開設に向けて～ |
| | 3組 | 国際貢献を考えよう① | 近畿地方・中南米の貧困について |
| | 4組 | ものづくりを考えよう | 4足歩行ロボットづくり |
| | 5組 | 国際貢献を考えよう② | 岩と植物で風食を防ぐことは可能か？ |
| | 6組 | 八頭町から地域の未来をつくる | 田舎まるごと！KID'S農業体験プロジェクト in はやぶさ ～農業で人を呼び込めるか？～ |
| | 7組 | 鳥取県への移住・定住や地域の魅力化を考えよう | 若者の人口流出を防ぐには！？ ～地域の魅力を向上させる方法を考える～ |